

令和 6 年度 第 2 回 春光まちづくり推進協議会 会議録

会議概要	
日時	令和 6 年 11 月 11 日(月曜日) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで
場所	旭川市北部住民センター 1 階 研修室
出席者	委員（11 名，50 音順） 市川委員，加納委員，工藤委員，久米委員，清水委員，高橋委員，高橋学委員，林（綾）委員，山形委員，山下委員、湯口委員 （欠席者 安齋委員、高村委員、林(知)委員、門間委員、渡邊委員） 事務局 市民生活部 岩崎次長 地域活動推進課 小松主幹、大角 北部住民センター 高橋，松川
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0 名
会議資料	・ 次第 ・ 資料 1 地域まちづくり推進協議会の在り方について ・ 資料 2 R 6 年度 春光子どもの居場所づくり事業実行委員会中間報告 ・ 資料 3 春光スノーコミュニケーション実行委員会活動報告

※「春光まちづくり推進協議会」について，本文では「まち協」と略する。

議事の内容

1 開会

開会し、欠席委員の報告と当日配付資料の確認が行われた。

2 検討事項

(1) 春光地域のまちづくりの検討と推進について

ア これまでのアンケート結果と各地域の意見について

【会長】

このことについて、事務局より説明を願いたい。

【事務局】

資料 1「地域まちづくり推進協議会の在り方について」に基づき、まち協の設置経緯、課題、令和 4 年度のアンケート結果、令和 5 年度の委員との意見交換結果等について説明。

【会長】

事務局からアンケート結果や意見交換の結果について説明がありました。

何かご意見等はないか。

【委員】

先日、市役所にて地域コミュニティに関する研修会があり、講師から多くのアドバイスをいただいた。内容としては、町内会を活性化させるための方法や現状の課題等についても含まれていたが、先ほど説明のあったまち協の課題とほとんど同じ内容の課題が挙げられていた。組織が悪いのではなく、方法が古いということもあるのではないかと思う。

若い人を取り込んでいくために、担い手による新たな活動や、市による新たなルール作りなど、新しい方法を積極的に取り入れたり、色々と視点を変えたりしながら、地域コミュニティの全体像を総合的に考えていくことが必要と考える。

【会長】

商店会なども若い方がいない状況にあるため、若い人をどのように取り込んでいくのか総合的に考える必要がある。

【委員】

同じ春光でも地域によっては特性が違う。コミュニティをどのようにしていくのか、コミュニティを作ることができる場所があるのかを考える必要がある。これまでも色々とイベントをやってはいるが若い方が減ったりして、町内会の活動の停滞、また、会館も古くなり集まる場所も少なくなっている現状にある。地域のコミュニティ作りは、まち協や町

内会も取り込みながら活動を広げていく等も含めて、良い方法を探していく必要性がある
と考える。

【委員】

自身が日頃関わっている組織のなかには若い人もいるが、なかなか参加してくれない状況にある。また、現状としては各実行委員会がありそれぞれ活動しているが、まち協の中で年次的に1つのイベントに特化する等の方向性を決めるなど、その年に力を入れていく事業を選定した方が全体で活動しやすくなると考える。

【委員】

まち協の委員は、他の組織の役員等をされている方も多いと思われ、それぞれの組織に役割や目的があると思う。まち協としては、それら複数組織の役割を網羅できる組織になれば理想的であると思う。町内会単位であるからこそ可能な活動もあると思うが、より広いエリアを対象とすることで、若い方も含め様々な方を取り込める可能性があると思う。個々人でもやりたいと思っていること・地域のためになると思っていることがあるが、それをどこにも発信していない若い方などもあると思うので、それを気軽に相談いただける体制を整えることが必要である。まち協としては、幅広く意見を受け付けたり、活動の人手を募集したりする窓口となり、様々な取組を実現する方法を一緒に考えていける組織になれば良いと思う。

【委員】

各実行委員会だけでなく、まち協全体で活動していくことも必要と考える。例えば、自身が所属する実行委員会以外で何か事業をする場合などに、当日お手伝いとして参加するだけでも状況が変わってくるのではないかなと思う。そうすることで各実行委員会の状況が把握しやすくなり、まち協全体で活動感が出てくると考える。

【委員】

実行委員会を作って活動しているが、予算ありきで考えるのではなく、地域にとって本当に必要なものに特化した活動にしていっていった方が良いと考える。

【委員】

子どもたちが自ら主体的になんかに取り組むことは成長につながるため、地域の活動について、子どもたちも役割を持って参加できる場を作るなど、小学生と一緒に考えながら活動していくのも良いかと考える。

【委員】

時代とともに様々変化してきていることが多いが、その変化についていけないところがある。今、求められていることの核心をつかむことが重要だと思う。

イ 各事業実行委員会からの報告について

【会長】

次に、本年度実施する事業は、春光子どもの居場所づくり事業、春光歴史探訪図事業と春光スノーコミュニケーション事業があるが、これまでの活動等についてご報告願いたい。

【委員】

- ・資料2に基づき、子どもの居場所づくり事業について説明。
- ・資料3に基づき、スノーコミュニケーション事業について説明。
- ・歴史探訪図事業については、口頭により、これまで委員会を2回開催し、資料の寄稿を行い、概要版を作成途中であり、次年度には図面化作成することを説明。

【会長】

各事業について、ご説明がありました。

質問等ないか。

無いようですので、各事業について報告を受けたこととします。

私から、事務局に質問があります。

あいさつ運動事業は、ゼロ予算事業として実施していますが、ノボリの旗の消耗が激しく更新できないかとの問い合わせがあり、何とか対応できないかお聞きしたい。

【事務局】

今年度の補助金の予算残額は、現時点で、10万円です。

今後、歴史探訪図事業が補助金を申請する予定の場合は、あいさつ運動事業で申請予定の補助金と合わせて10万円に収めていただく必要があるため、これら2事業での調整が必要です。また、あいさつ運動事業の補助申請をするにあたり、年度内に1回以上活動することが補助の対象と認められる条件となります。参考ですが、令和4年度の旗の作成費用は、81枚で73000円でした。いずれにしても、歴史探訪図事業実行委員会と打合せや調整が必要となります。

【会長】

了解した。歴史探訪図事業予算との調整を行うとともに、各市民委員会からノボリの旗の必要枚数等について、調査を行います。よろしくお願いいたします。

(2) その他

【会長】

次回、第3回まち協の日程について確認する。

日程調整の結果、第3回目のまち協は、令和7年1月20日（月）18:30から北部住民センター研修室で開催する。

3 その他

【会長】

全体を通して、ご質問や確認事項等はありませんか。

ないようなのでこれにて閉会する。

4 閉会